

教科名	家庭	週時間数	0.5	学年	3
使用教科書及び副教材等	技術・家庭 【家庭分野】 (東京書籍)				

指導の重点 (確かな学力)	「課題発見能力」 「課題解決力」 「知識・技能」				
教科のねらい	よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、生活の中の様々な課題を解決する方法を学ぶ。実習を通して体験的に学習を行い、その過程で生活を工夫し、よりよいものにしていく。そして、学習した知識や技術を活用して、自分の生活に取り入れようとする態度を身につける。				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に自分の生活とのつながりを意識し、課題意識をもって学習する。</li> <li>・実習では、準備・作業・かたづけ等、班で協力して進める。</li> <li>・安全を考え行動し、器具や道具を適切かつ安全に使用し、工夫しながら製作に取り組む。</li> <li>・毎回の授業で学んだことをふり返り、まとめて書く。</li> </ul>				
定期考査	出題方針	教科書やワークシート、配布した資料などから出題する			
	範囲	1学期中	なし		
		1学期末	1学期の範囲		
		2学期中	なし		
		2学期末	2学期の範囲		
学年	1, 2学期と3学期の前半				
学習方法 (アドバイス等)	各課題についての説明をよく聞き、個人や班で工夫して実習を進めたり、話し合った結果をまとめたりなど、積極的な態度で授業に参加する。				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	① 知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身に付けている	授業の取り組み、定期テスト、実技の制作過程での記録や様子。作品のできばえ。レポートの内容。
	② 思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価、改善し考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	授業の取り組み、レポート・ワークシートの内容。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	授業の取り組み、レポートやワークシートの内容 実技の制作過程での記録や様子。

年間授業計画書					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	・わたしたちの成長と家族地域	・幼児の心身の発達  ・被服実習	3	・幼い頃をふりかえる ・ふさわしいおもちゃ ・遊びの重要性  ・幼児が喜ぶ名札デザイン
	5			3	
	6			3	
	7			3	
2	9	・幼児とのふれあい	・被服実習 ・幼児の生活と遊び  ・子どもにとっての家族  ・幼児が楽しく生活できるために ・保育実習	3	・フェルトでの名札作り ・基礎縫い  ・子どもが育つ場 ・家族の役割  ・幼児とのかかわり方の工夫
	10			1	
	11			3	
2	12			3	
	1	・幼児とのふれあい	・幼児の栄養 ・まとめ	4	・3年間の学びをふりかえり、今後に生かす